

《安全対策の充実を図り、より一層信頼・安心いただける発電所を目指してまいります》

地域の皆さまにおかれましては、日ごろより女川原子力発電所の運営にご理解とご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

女川原子力発電所では、東京電力福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえ、より高いレベルの安全確保に向けて、最新の知見も取り入れながら、自主的かつ継続的に安全対策や訓練等に取り組んでおります。また、女川2号機は平成25年12月以降、新規制基準への適合性について、原子力規制委員会の審査を受けておりますが、原子力発電所の耐震設計において基準となる地震動「基準地震動」や、想定される最大の津波である「基準津波」の策定につきましては、「概ね妥当な検討がなされている」との評価をいただいているところです。

こうした中で、地域の皆さまに女川原子力発電所の状況をご理解いただくことが、何よりも重要と考えており、「こんにちは訪問」をはじめとする対話活動に力を入れて取り組んでおります。

今後とも地域の皆さまの声をしっかりと受け止め、地域の皆さまに信頼され、ご安心いただける発電所を目指してまいりますので、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



平成30年1月
女川原子力発電所 所長 鴫田 真孝

《発電所員より～新年の抱負》

現在、女川原子力発電所では、安全性向上に向け、国の新規制基準の適合性審査への対応とともに、同基準や最新の知見を踏まえ、様々な安全対策工事を行っております。その中で、私は、電源車、ガスタービン発電機など、発電所の電気設備に係る安全対策工事に、発電所員や協力会社の仲間とともに取り組んでおります。

地域の皆さまに信頼して頂くためには、安全対策だけではなく、常日ごろから、設備の保守管理をはじめ、有事に備え、様々な事象を想定した電源の確保訓練に取り組む等、地道な努力が必要であると考えております。

本年も、誠心誠意、小さなことから一步一步、確実に業務に取り組んでまいります。



保全部 電気グループ
遠藤 雅彦(新潟県出身)



電源車を用いた電源確保訓練の様子

《「こんにちは訪問」を実施しました》



12月4日(月)から22日(金)にかけて、地域の皆さまに発電所に関する情報をお知らせし、ご意見をいただく定例の対話活動「こんにちは訪問」を行いました。

平成6年の開始から32回目となる今回は、発電所員延べ約200人が、女川町と石巻市牡鹿半島の約3,900戸を訪問させていただきました。

対話活動の中で、皆さまからいただいた貴重なご意見は、今後の発電所運営に生かしてまいります。

突然の訪問にもかかわらず、「寒い中お疲れさま」などのお声を掛けていただき心が温まりました。今後も地域の皆さまと心が通い合うような、丁寧でわかり易い対話活動に取り組んでまいります。



地域総合事務所
市ノ渡 一也(青森県出身)

《「第16回東北電力図画コンクール」優秀作品をご紹介します》

今年度の図画コンクールには、過去最多となる5,396点もの作品をお寄せいただき、甲乙つけがたい力作の中から、最優秀賞1点、優秀賞7点を含む39点の入賞作品が決定しました。子どもたちが一生懸命描いた想像力あふれる“海の生きものたち”をお楽しみください。

なお、1月下旬から、一次審査を通過した200点の作品展を開催いたしますので、お誘い合わせの上、ぜひ会場までお越しください。

各賞

- ◆審査委員長賞……………佐藤 あかりさん(石巻市)
- ◆審査委員特別賞……………阿部 瞳真さん(石巻市)
- ◆審査委員特別賞……………三浦 実桜さん(東松島市)
- ◆審査委員特別賞……………小山 寛人さん(石巻市)
- ◆三陸河北新報社賞……………宮本 麻央さん(石巻市)
- ◆石巻日日新聞社賞……………村上 紗彩さん(石巻市)
- ◆石ノ森萬画館賞……………勝又 愛羅さん(石巻市)
- ◆女川原子力発電所長賞……………佐藤 成美さん(石巻市)
- ◆女川原子力PRセンター所長賞…佐藤 雄次郎さん(女川町)

奨励賞

- 亀井 咲花さん(東松島市) 佐藤 悠輝さん(女川町) 尾形 柑南さん(東松島市)
- 鈴木 煌土さん(東松島市) 中村 琴南さん(石巻市) 伊澤 健斗さん(東松島市)
- 高橋 遙愛さん(女川町) 芳賀 楓さん(石巻市) 伊藤 梓生さん(東松島市)
- 熊谷 輝星さん(石巻市) 高橋 遥陽さん(石巻市) 石川 結菜さん(東松島市)
- 高橋 蒼生さん(石巻市) 梨澤 莉旺さん(石巻市) 阿部 真子さん(石巻市)
- 北林 優羽さん(東松島市) 阿部 咲来さん(石巻市) 小泉 佑也さん(石巻市)
- 内海 瑞稀さん(石巻市) 及川 瑠菜さん(石巻市)
- 佐々木 麻里亜さん(石巻市) 齋藤 琥珀さん(東松島市)

最優秀賞



「海の中の夜景アート」

舛 菜々子さん(石巻市)

真っ暗な海の中に、色とりどりのネオンをちりばめました。海の生き物たちも、きらきらとかがやき出します。アポリジニアートを参考にして、ドットで表現しました。

優秀賞



「ほやでんきゅう」
熊谷 春輝さん(石巻市)



「フラワーたこ」
浅野 琴海さん(東松島市)



「サンゴに集まるさかなたち」
鈴木 悠生さん(東松島市)



「深海のヴィーナス」
横山 菜々子さん(石巻市)



「にじのしょくにん」
木村 七歩さん(石巻市)



「カラフルくじら」
相澤 岳杜さん(東松島市)



「メタルイカ」
木村 匠意さん(石巻市)

作品展会場および日程

- 石ノ森萬画館(石巻) 期間:平成30年1月27日(土)～平成30年2月4日(日)
- イオンモール石巻 期間:平成30年2月17日(土)～平成30年2月25日(日)
- 女川原子力発電所 地域総合事務所 期間:平成30年3月19日(月)～平成30年3月25日(日)

《新たに実施することになりました》

《「東北電力クリスマスドリーム」を開催しました》

～女川町および石巻市牡鹿地区の子どもたちがミュージカルや合唱・ダンスなどを披露しました～

女川原子力発電所では、地域の未来を担う子どもたちの文化活動支援の一助として、ミュージカルや合唱・ダンスなどを行うイベント「東北電力クリスマスドリーム」を開催しました。

この取り組みは、平成6年より毎年開催しており、今回で24回目となります。

11月11日(土)には石巻会場(石巻市牡鹿中学校体育館)において、牡鹿中学校の有志による和太鼓をはじめ、牡鹿中学校、鮎川小学校、大原小学校、寄磯小学校の生徒・児童がそれぞれの特徴を生かした合唱やダンスなどを披露しました。

また、12月17日(日)には女川会場(女川町立女川小学校体育館)において、女川町内の子どもたちによるオリジナルミュージカル「ハルダーハルと海月気球～願いが叶う伝説～」を上演しました。

両会場とも、参加した子どもたちの熱演に来場者から惜しみない拍手が送られました。



石巻会場の様子

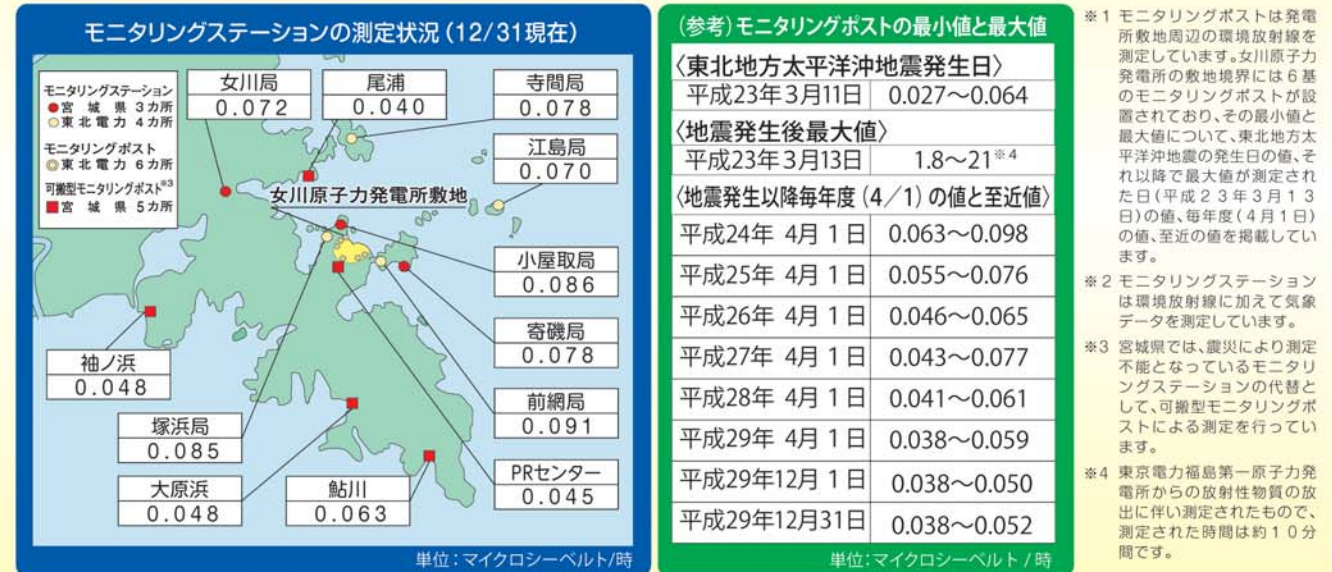


女川会場の様子

《女川原子力発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線量はモニタリングポスト*1やモニタリングステーション*2で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

発電所敷地内に設置してあるモニタリングポストの現在の測定値は、最大で0.052マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。



*1 モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されており、その最小値と最大値について、東北地方太平洋沖地震の発生日の値、それ以降で最大値が測定された日(平成23年3月13日)の値、毎年度(4月1日)の値、至近の値を掲載しています。

*2 モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。

*3 宮城県では、震災により測定不能となっているモニタリングステーションの代替として、可搬型モニタリングポストによる測定を行っています。

*4 東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い測定されたもので、測定された時間は約10分間です。